

2月の主な行事

1日 :	生活習慣病予防週間	9日 :	肉の日、福の日
3日 :	節分	11日 :	建国記念の日
4日 :	立春	14日 :	バレンタインデー
7日 :	北方領土の日	20日 :	歌舞伎の日



今月のかわら版 : 1 「 仏像の見方 」

近年、仏像に関心を持つ人が増えてきたようで、「仏像ブーム」ともいわれます。仏像鑑賞といえばシニアの趣味というのはひと昔前までの話。ここ数年、20代、30代といった若年層を中心に「仏像ファン」の裾野が急激に広がっているようです。

仏像とは、仏教の信仰対象である仏の姿を表現した像のこと。仏像とはもともと仏教を始めた釈迦の姿のことでしたが、長い年月を経るうちに仏教も様々な影響を受け、人々の救いのための様々な仏像が作られるようになりました。一般には四つの部類に分けられます。

◆如来(によらい)◆

仏陀、すなわち悟りを開いた人をあらわす。仏教における最終目標は悟りを得ることなので、如来と名のつく仏様が一番偉いということになる。装身具類をつけず、薄い衣1枚をまとっている。釈迦如来(しゃかによらい・あらゆる仏像の起源。お釈迦様)阿弥陀如来(あみだによらい・すべての人に永遠の救いの光を放つ仏)

◆菩薩(ぼさつ)◆

釈迦が悟りを開く前の修行時代を菩薩という。仏陀になることが予定されていて世のため、人のために修行する者のこと。千手観音(せんじゅかんのん・無限の力を千本の手に持ち、世の中を救済する)弥勒菩薩(みろくぼさつ・五十六億七千万年後の未来に姿を現し、人々を救済するとされる)



◆明王(みょうおう)◆

教えに従わない救い難い人々を力づくでも教え諭す役目を持つため、恐ろしい顔立ちで激しい怒りの表情をしている。不動明王(ふどうみょうおう・怒りを救済にかえる大日如来(だいにちによらい)の化身。お不動さんの名で親しまれている)

◆天部(てんぶ)◆

古代インドの宗教の神々が仏教に取り入れられ、仏教を守護する神となった者の総称。金剛力士(こんごうりきし・門前で悪を退散させる神。口を明け「あ」=「はじまり」を表した阿形(あぎょう)像と口を結び「ん」=「おわり」を表した吽形(うんぎょう)像の二体一対として寺院の門前などに安置されている。)

仏像は両手で様々な形を表していますね。これを印相(いんそう)といいます。鎌倉の大仏のように両手のひらを上にひざの上で組み合わせ、最高の悟りの状態であることを表している阿弥陀定印(あみだじょういん)や、奈良の大仏のように右手は上に挙げ手のひらを見せ、人々に畏れることのない状態を表す施無畏印(せむいいん)、左手は下げて手のひらを上に見せ、人々の願いを叶えるという予願印(よがんいん)など印相には仏の悟りの内容、働きなどを表す意味があります。仏像がどの印相を結んでいるかによって、その仏像がなんであるかある程度推測がつくようです。

今年2010年は、「奈良・平城京」が西暦710年に誕生してから、1300年目に当たる記念すべき年で、奈良だけでなく全国で様々な催しが開催されます。仏像ファンにはたまらない一年になりそうですね。

今月のかわら版 : 2 「 携帯電話をリサイクルに出すと、最高5万円の商品券があたる! 」

経済産業省が主催して、使い終わった携帯電話やPHSを家電量販店などにリサイクルに出すと抽選で最高5万円の商品券があたる「たんすケータイあつめタイ」というキャンペーンが11月21日から2月28日までの期間限定で始まっています。このキャンペーンの狙いは、携帯電話等のリサイクルが現在尻すぼみの状況になっているため、インセンティブをつけて一般の方に関心を高めてもらうことです。携帯電話等には金、銀、銅といった有用金属や、パラジウムなどの希少金属(レアメタル)が使われています。携帯電話等の再資源化の取り組みは、電気通信事業者協会が2001年度からリサイクルの仕組みを立ち上げて推進してきましたが、2000年度の13,615千台をピークに減少し、2008年度では6,174千台に半減しました。半減した理由は、携帯電話の多機能化が進み通信端末として使わなくなっても手元に保管し続ける利用者が増えたことがその原因とされています。

みなさん「都市鉱山」という言葉をご存知でしょうか?

「都市鉱山」とは、都市でゴミとして大量に廃棄される家電製品などの中に存在するレアメタルを含め有用な資源を鉱山に見立てたものです。

そこから資源を再生し、有効活用しようというリサイクルの一環となる地上資源の一つでもあります。ある研究機関からの報告によると、日本の都市鉱山に存在する金の総量は6,800トン、銀は60,000トンが存在しているとの報告がされています。

全世界の埋蔵量の割合でいえば金は16%、銀は22%に相当するそうです。「都市鉱山」の観点から見ると日本は資源大国と言ってもいいかもしれません。しかしながら、こうした多くの資源を持っていてもそれを使える状態にしなければ、まさしく、「宝の持ち腐れ」に終わります。資源のリサイクルに協力していくことが大きく言えば日本の経済に貢献することになります。

いま、使っていない携帯電話をお持ちの方は是非「たんすケータイあつめタイ」キャンペーンをご利用ください。日本の経済に貢献するとともに、5万円の商品券というあなたのお財布にも貢献する可能性もあります。詳しい内容は家電量販店や「たんすケータイあつめタイ」のホームページ(<http://tansu-keitai.jp/>)でご確認ください。

